

2018 年度自己点検評価報告書

仙台 YMCA 国際ホテル製菓専門学校

2019 年 5 月

校長 加藤雄一

gakko@sendai-ymca.org

自己点検評価報告書

1. 学校の教育目標

仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校は、イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学んだYMCAの使命に基づき、以下の教育目標を制定しています。

- 1 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティマインドを持つ
ホスピタリティとは、相手を自分のことのように大切にできるという気持ちです。お客様だけでなく、友人、家族、地域で発揮できるようにします。
- 2 専門分野の知識、技能の習得
目標資格を明確にし、座学と実習を組み合わせることで即戦力となれるようにします。
- 3 YMCAの4つの価値【Caring (思いやり)、Honesty (誠実さ)、Responsibility (責任感)、Respect (尊敬心)】を意識し、どんな場面でも実践する
ホスピタリティマインドを養成するため「キャラクターディベロップメント(人格向上)」に取り組みます。人間形成に必要とされる価値は様々ですが、その中でもYMCAは特に、これらの4つの価値が大切であると考えています。これらは、目新しいものではありませんが、人間の形成に関わる普遍的なものとして取り組んでいきます。
- 4 コミュニティに貢献するボランティア精神の習得
地域の一員として社会に関心を持ち、他の人のために働く心を育てます。YMCAのボランティア活動に参加する機会を設けます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

2018年度は、昨年度に引き続き学生支援環境の整備、安定した運営のための広報の強化、国際おもてなし科への留学生対策、ホテルパティシエ科の広報充実を目標として取り組んだ。

- 1 学生支援の強化
 1. 一人ひとりがYMCAの学生としての意識を持つことができる指導内容とする。
 2. 高い目標を持ち、学生も担任も共に高めあえる雰囲気づくりと行動をする。
 3. 教育の質を保证する働きを進める。
- 2 学生募集の強化
 1. ホームページの内容を充実させる。画像や動画を盛り込んだ内容とする。スマートフォンで閲覧する学生がほとんどであるため、これに対応する。
 2. インターネットメディア、ソーシャルメディアを利用した発信を強化する。
 3. 広報誌を充実させ、YMCAの学校だけでなく、全体が何を行っているのか、どのような働きを地域で果たしているのか、それに学生たちが生き生きと関わっていることを伝える広報とする。
 4. 学校訪問では、在籍生・卒業生情報はもちろんのことYMCAとしての働きを伝えることを心がける。
 5. 業界に対しても同様に広報し、業界との連携を強める。

6. 留学生獲得に向けて日本語学校との連携を強める。日本語講座を開設し、受講生への特典を付ける。

3. 自己点検評価

1 実施方法

1. 評価は、校長、教務課、教員にて行った。
2. 項目は、『専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年3月）』に基づき行った。

2 自己評価の評価

評価は、適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 とした。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校は、仙台YMCAの使命に基づき、以下のように運営方針と教育目標を定めています。

● 仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行ないます。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおり、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

● 学校運営方針

仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校は、YMCAの理念に基づき、以下の方針を持って運営を行う。

1. 即戦力として社会のニーズに応える専門性と人間性を持った人材を育てる。(YM-ismの実践)
2. YMCAの4つの価値 Caring (思いやり)、Honesty (誠実さ)、Responsibility (責任感)、

Respect（尊敬心）を実践する指導者と学生になる。

3. 学習目標の明確化と目標に向かった指導内容の統一を図る。
4. 産業界との連携を強める。
5. 学生会・校友会・講師親睦会活動を活性化する。
6. 就職指導の徹底と職業意識の向上を図る。
7. 地域や世界に貢献するボランティア活動を行う。

● 教育目標

1. 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティマインドを持つ
2. 専門分野の知識、技能の習得
3. YMCAの4つの価値を意識し、どんな場面でも実践する
4. コミュニティに貢献するボランティア精神の習得

評価項目	評価（4～1）			
理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野における職業教育の特色は何か）	4	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 現状

- ・理念・目的・育成人材像等は、学生要綱を利用して学生に対するオリエンテーション時に説明している。教職員に対しては、講師マニュアルを講師会にて説明し学習している。
- ・YMCAの4つの価値を教室に掲示し、折を見て唱和している。
- ・入学時における保護者会にて事務的な連絡以外にも必ず伝え、また学生にはホームルームを利用して日常的に取り組んでいる。

② 課題

- ・教員、担任が意識的に理念・目的等を語る者であることを意識すること。（継続）
- ・保護者会・講師会の参加率が低い。（継続）

③ 今後の改善方策

- ・保護者がボランティアなどでYMCAに貢献する機会を提供する。（継続）
- ・業界で活躍する卒業生を定期的に訪問し連携を強化する。（継続）
- ・学生たちがボランティアをする姿を見て、YMCAとしての活動や働きかけ、取組みを見て感じていただく良い機会だと考えるので、バザー等YMCAプログラムに積極的に保護者を呼び込むため、意識して学生と話題を共有するようにする。（継続）

④ 特記事項

特になし

(2) 学校運営

評価項目	評価（４～１）			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
教務、財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 現状

- ・学校運営方針等は、年度当初の講師会において発表され、共有している。
- ・YMCA の事業方針に基づいた、事業計画を別途作成し、アクションプランを実行している。
- ・事業の内容は、専門学校運営委員会、理事会に報告している。
- ・Google システムを利用し IT を活用しながら、情報の共有等が進められている。
- ・事業報告書、財務諸表が適切に公開されている。

② 課題

- ・職員一人ひとりが日常的に事業方針計画の実行を意識すること。（継続）

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

(3) 教育活動

評価項目	評価（４～１）			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	4	3	2	1
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施評価体制はあるか	4	3	2	1

職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得の指導体制, カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野における業界との連携において優れた教員（本務兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 現状

- ・教育目標を設定し、カリキュラム編成が考えられている。
- ・アドミッションポリシーを明確にしている。
- ・シラバスを作成し、授業内容、評価方法等を明確にしている。
- ・学生は、学期ごとに授業評価をし、その結果は、講師にフィードバックされている。
- ・目標とする資格も明確であり、資格取得のために編成されたカリキュラムで行っている。
- ・教育課程編成委員会にて業界の意見をいただきながらカリキュラムの編成を行っている。

② 課題

- ・教職員の研修の充実（継続）

③ 今後の改善方策

- ・授業を活用した研修の実施（継続）
- ・業界関連業務理解のための研修を行う。

④ 特記事項

特になし

(4)学修成果

評価項目	評価（4～1）			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 現状

- ・就職対策の授業や個別指導で日頃から就職に向けての準備を行っている。
- ・国家資格取得のための集中授業を設けている。
- ・就職率が2年連続100%である。

② 課題

- ・卒業後の調査が不十分なところがある。(継続)

③ 今後の改善方策

- ・ICTを活用した卒業生情報の管理を行う。(継続)

④ 特記事項

特になし

(5)学生支援

評価項目	評価 (4～1)			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校, 高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 現状

- ・学費の分納制度また奨学金制度を活用するものも多く支援がなされている。
- ・健康診断や保険等について整備されている。
- ・卒業後も就職支援等継続的に行っている。
- ・上級学校訪問等積極的に受け入れている。
- ・保護者会やクラスレターで学生の情報を伝えている。
- ・特別支援教育士に相談する体制ができている。
- ・高校からの依頼による授業が行われている。

② 課題

- ・奨学金制度が日本学生支援機構と震災関係のみとなっている。(継続)

③ 今後の改善方策

- ・医療機関との連携強化

④ 特記事項

特になし

(6)教育環境

評価項目	評価（４～１）			
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 現状

- ・必要な環境整備・防災体制は様々な変化に対応しながら進められている。

② 課題

- ・ICT環境の充実（継続）
- ・備品の更新

③ 今後の改善方法

- ・法人全体の整備計画に従って環境整備を行う。（継続）
- ・Wifi環境を整備する

④ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

評価項目	評価（４～１）			
学生募集活動は, 適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において, 教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 現状

- ・留学生も入学しやすいように学費を見直した。
- ・オープンキャンパス等で教育成果を伝えている。
- ・計画的な募集と分析がなされている。

② 課題

- ・学修成果が高校生にわかりやすく、業界の魅力が伝えられるような工夫をさらにしていきたい。（継続）
- ・SNSの更なる活用
- ・留学生への奨学金支援

③ 今後の改善方策

- ・募集計画を確実に行う。
- ・体験会や説明会等に関わる在籍生が、自信をもって生き生きと楽しく行動できるよう、日常のかかわりを強化する。（継続）

④ 特記事項

特になし

(8)財務

評価項目	評価（４～１）			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 現状

入学者数の減少。

② 課題

途中退学者を出さない。（継続）

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

評価項目	評価（４～１）			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 現状

・法令遵守されている。

② 課題

・特になし

③ 今後の改善方策

・特になし

④ 特記事項

特になし

(10)社会貢献地域貢献

評価項目	評価（４～１）			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	4	3	2	1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 現状

- ・震災関係のボランティアに積極的に参加している。
- ・求職者支援訓練にチャレンジした。

② 課題

- ・職業訓練開講を認定されたが、募集人数の確保が課題。（継続）

③ 今後の改善方策

- ・活動を外に向かって発信する機会を多くする。

④ 特記事項

特になし

(11)国際交流

評価項目	評価（4～1）			
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	1
受入れ派遣, 在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 現状

- ・在籍管理・諸届出を正確にしている。
- ・留学生のボランティア活動や授業の様子などをSNSで発信をしている。
- ・日本人学生と合同の授業が多く組まれている。

② 課題

- ・留学生の卒業後の進路場所の確保（継続）

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし